平成27年度 事業評価調書(27年度対象)

事業コード	0520	事業名	行政改革推進事業費			
所属名	総務部総務課	評価責任者	総務課長　前田　貢			
		作成責任者	片山　裕貴	ダイヤルイン	052-954-6026	
政策名	簡素で効率的な行政運営の実現	施策名	行政改革に関する取組の促進			
事業目的	しなやか県庁創造プランに基づき、行政改革を推進する。					
根拠法令・計画等	しなやか県庁創造プラン 地方自治法第2条第14項及び第15項					

従事人員・経費等

区分		予算額 27年度(当初)	予算額 26年度(当初)	決算額 26年度	決算額 25年度
従事人員	正規職員(うち地方機関)	11.90人 (0人)	11.90人 (0人)	11.90人 (0人)	9.90人 (0人)
	非常勤職員(うち地方機関)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
経費	人件費(a)	116,269 千円	119,351 千円	125,790 千円	96,912 千円
	事業費(b)	16,006 千円	21,719 千円	10,848 千円	10,166 千円
	公債費(c)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	計(a)+(b)+(c)	132,275 千円	141,070 千円	136,638 千円	107,078 千円
収入のうち受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
経費のうち、一般財源等		132,275 千円	141,070 千円	136,638 千円	107,078 千円

事業計画の内容及び事業費の内訳

しなやか県庁創造プランに基づく行政改革の取組について県全体の進行管理を行うとともに、公の施設へのネーミングライツの導入検討、PFIの導入推進等を行う。

行政改革推進費　16，006千円
1 行革大綱推進費　8，282千円(行政改革促進1,063千円)
2 出資法人等経営改革推進費　283千円(出資法人等経営検討委員会開催257千円)
3 ネーミングライツ推進費　4，721千円(ネーミングライツ価格調査等4,721千円)
4 PFI推進事業費　2，720千円(PFI事業導入検討調査2,000千円)

評価

指標／目標値等

	指標(指標によっては計算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
1	しなやか県庁創造プランの取組により得られる行革効果額	最終目標	27～31年度　毎年度20億円以上		
		27年度	20億円	33億円	(見込)
		26年度	60億円	101億円	(実績)
2	県関係団体経営改善計画の年次数値目標に対する目標達成指標数	最終目標	全91指標で目標達成		
		27年度	全91指標で目標達成	46／91指標	(見込)
		26年度	全92指標で目標達成	47／92指標	(実績)
3	出資法人に係る地方財政健全化法上の県負担見込額	最終目標	前年度以下		
		27年度	前年度以下	253億円	(見込)
		26年度	前年度490億円以下	314億円	(実績)
4	グッドジョブ運動への延べ応募者数	最終目標	平成31年度までに7,000件		
		27年度	4,080件	4,241件	(見込)
		26年度	3,350件	3,511件	(実績)
5	県民あたりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標			
		27年度	－	－	(見込)
		26年度	－	20円	(実績)

外部要因等

東日本大震災の影響による海岸部の宅地処分の停滞や、施設の閉館予定による宿泊利用者数の減少により、県関係団体経営改善計画の年次数値目標に達成できないものがあった。

目的の達成に関する評価

C:相当程度進展あり
(判断の理由)
◎主要な指標:1(理由:行政改革による効果額を客観的に表すことができるため)
・行革効果額が目標を上回ったため、管理事業全体としては、相当程度進展があった。
・県関係団体経営改善計画については、自主・自律的な経営の確立を目指して目標設定をしており、団体の自主性を尊重して進行管理に努めていること、また、上部外部要因もあって目標を達成することができなかった。

課題

超高齢社会・人口減少の進行など社会経済環境が大きく変化する中、県民の皆様の多様な行政ニーズにしなやかに対応していくためには、民間の知恵にも学びながら、より一層効果的・効率的な行政運営に取り組んでいく必要がある。
また、厳しい財政状況は今後も継続するものと認識しており、健全で持続可能な財政基盤の確立に引き続き取り組んでいく必要もある。

今後の方向性

・平成27年度を取組期間のスタートとするしなやか県庁創造プランに基づき、これからの地域づくりや豊かな県民の暮らしの実現に向けた政策を進めるための行財政体制の確立を目指す。